



ネットアップアカウント Set up and administration

NetApp
June 15, 2022

目次

ネットアップアカウント	1
ネットアップアカウントの管理	1
アカウントでの操作の監視	11
ロール	13

ネットアップアカウント

ネットアップアカウントの管理

"初期セットアップを実行したあと"では、後でユーザー、サービスアカウント、ワークスペース、コネクタ、およびサブスクリプションを管理することで、アカウント設定を管理できます。

"ネットアップアカウントの仕組みをご覧ください"。

テナンシー **API** を使用してアカウントを管理します

API 要求を送信してアカウント設定を管理する場合は、_Tenancy_API_を使用する必要があります。この API は、Cloud Volumes ONTAP の作業環境の作成と管理に使用する Cloud Manager API とは異なります。

"テナンシー API のエンドポイントを表示します"

ユーザの作成と管理

アカウント内のユーザーは、アカウントのワークスペース内のリソースを管理するためにアクセスできます。

ユーザを追加する

Cloud Central ユーザをネットアップアカウントに関連付けて、これらのユーザが Cloud Manager で作業環境を作成および管理できるようにします。

手順

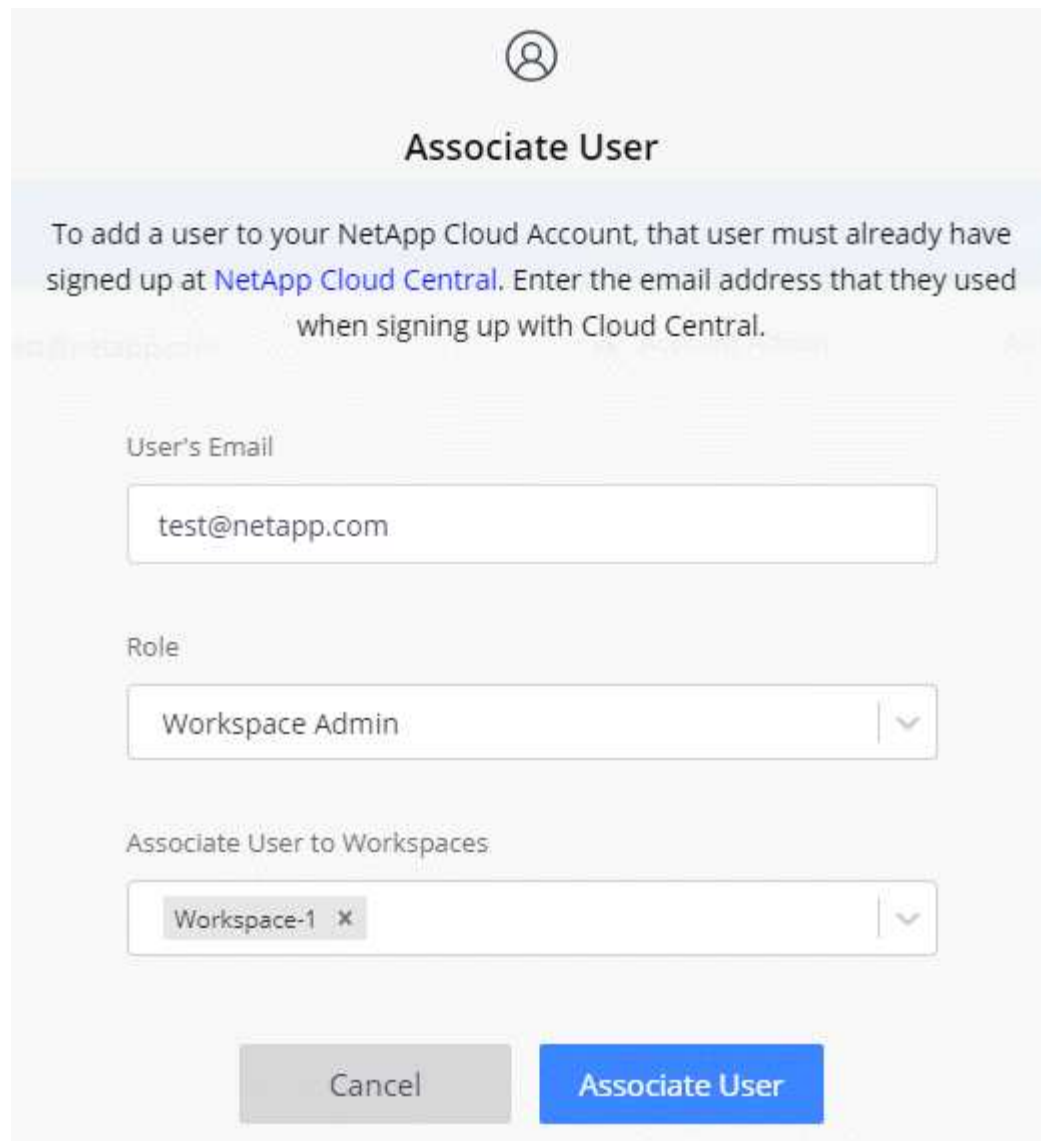
1. ユーザーがまだ行っていない場合は、にアクセスするようにユーザーに依頼します "NetApp Cloud Central" 登録してください。
2. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックします。



3. 現在選択されているアカウントの横にある [* アカウントの管理 *] をクリックします。



4. メンバータブで、* ユーザーを関連付け * をクリックします。
5. ユーザの E メールアドレスを入力し、ユーザのロールを選択します。
 - * アカウント管理者 * : Cloud Manager で任意の操作を実行できます。
 - * ワークスペース管理者 * : 割り当てられたワークスペースでリソースを作成および管理できます。
 - * Compliance Viewer * : クラウドデータセンスのコンプライアンス情報のみを表示し、アクセス権限のあるワークスペースのレポートを生成できます。
 - * SnapCenter Admin* : SnapCenter サービスを使用して、アプリケーションと整合性のあるバックアップを作成し、それらのバックアップを使用してデータをリストアできます。_ このサービスは現在ベータ版です。 _
6. Workspace Admin または Compliance Viewer を選択した場合は、1 つ以上のワークスペースを選択してそのユーザーに関連付けます。



The image shows a web-based dialog box titled "Associate User". At the top, there is a user icon. Below the title, a light blue banner contains the text: "To add a user to your NetApp Cloud Account, that user must already have signed up at [NetApp Cloud Central](#). Enter the email address that they used when signing up with Cloud Central." The main form area has three sections: "User's Email" with a text input field containing "test@netapp.com"; "Role" with a dropdown menu showing "Workspace Admin"; and "Associate User to Workspaces" with a dropdown menu showing "Workspace-1" and a close button (X). At the bottom, there are two buttons: a grey "Cancel" button and a blue "Associate User" button.

7. [関連付け（Associate）] をクリックします。

ユーザには、NetApp Cloud Central の「Account Association」というタイトルの E メールが送信されます。E メールには、Cloud Manager にアクセスするために必要な情報が記載されています。

ユーザの削除

ユーザが割り当てを解除すると、ネットアップアカウントのリソースにアクセスできなくなります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。



2. メンバー (Members) タブで 'ユーザーに対応する行のアクションメニューをクリックします

5 Members

Type	Name	Email	Role	Workspace	
Ⓜ	Ben		☆ Account Admin	All Workspaces	⋮
Ⓜ	Tom		☆ Account Admin	All Workspaces	⋮
Ⓜ	Ben		Workspace Admin	Newone	⋮

3. [ユーザーの関連付けを解除 (Disassociate User)] をクリックし、[関連付けを解除 (Disassociate)] をクリックして

ユーザはこのネットアップアカウントのリソースにアクセスできなくなります。

ワークスペース管理者のワークスペースの管理

ワークスペース管理者は、いつでもワークスペースに関連付けたり、ワークスペースと関連付けを解除したりできます。ユーザーに関連付けると、ワークスペース内の作業環境を作成して表示できます。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。



2. メンバー (Members) タブで 'ユーザー' に対応する行のアクションメニューをクリックします



Type	Name	Email	Role	Workspace	
👤	Ben		☆ Account Admin	All Workspaces	...
👤	Tom		☆ Account Admin	All Workspaces	...
👤	Ben		Workspace Admin	Newone	...

3. * ワークスペースの管理 * をクリックします。
4. ユーザーに関連付けるワークスペースを選択し、* 適用 * をクリックします。

コネクタがワークスペースにも関連付けられていれば、ユーザは Cloud Manager からこれらのワークスペースにアクセスできるようになりました。

サービスアカウントの作成と管理

サービスアカウントは「ユーザ」の役割を果たし、Cloud Manager に対して自動化のための許可された API 呼び出しを実行できます。これにより、自動化スクリプトを作成する必要がなくなります。自動化スクリプトは、会社を離れることができる実際のユーザアカウントに基づいて作成する必要がなくなります。フェデレーションを使用している場合は、クラウドから更新トークンを生成することなくトークンを作成できます。

サービスアカウントには、他の Cloud Manager ユーザと同様にロールを割り当てることで権限を付与します。サービスアカウントを特定のワークスペースに関連付けることで、サービスがアクセスできる作業環境（リソース）を制御することもできます。

サービスアカウントを作成すると、Cloud Manager でサービスアカウントのクライアント ID とクライアントシークレットをコピーまたはダウンロードできます。このキーペアは、Cloud Manager との認証に使用されます。

サービスアカウントの作成

作業環境でリソースを管理するために必要な数のサービスアカウントを作成します。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックします。



2. 現在選択されているアカウントの横にある [* アカウントの管理 *] をクリックします。



3. メンバータブで、 * サービスアカウントの作成 * をクリックします。
4. 名前を入力し、ロールを選択します。Account Admin 以外のロールを選択した場合は、このサービスアカウントに関連付けるワークスペースを選択します。
5. [作成 (Create)] をクリックします。
6. クライアント ID とクライアントシークレットをコピーまたはダウンロードします。

クライアントシークレットは 1 回だけ表示され、Cloud Manager ではどこにも保存されません。シークレットをコピーまたはダウンロードして安全に保管します。
7. [* 閉じる *] をクリックします。

サービスアカウントのベアラトークンを取得する

への API 呼び出しを実行するため "テナンシー API" サービスアカウントのベアラトークンを取得する必要があります。

```
curl --location --request POST 'https://netapp-cloud-account.auth0.com/oauth/token' \
--header 'Content-Type: application/json' \
--data-raw '{
  "grant_type": "client_credentials",
  "client_secret": "<client secret>",
  "audience": "https://api.cloud.netapp.com",
  "client_id": "<client id>"
}'
```

クライアント ID をコピーしています

サービスアカウントのクライアント ID はいつでもコピーできます。

手順

1. [メンバー] タブで、サービスアカウントに対応する行のアクションメニューをクリックします。



2. [クライアント ID] をクリックします。
3. ID がクリップボードにコピーされます。

キーの再作成中です

キーを再作成すると、このサービスアカウントの既存のキーが削除され、新しいキーが作成されます。前のキーを使用することはできません。

手順

1. [メンバー] タブで、サービスアカウントに対応する行のアクションメニューをクリックします。



2. [キーの再作成 *] をクリックします。
3. 再作成 * をクリックして確定します。
4. クライアント ID とクライアントシークレットをコピーまたはダウンロードします。

クライアントシークレットは 1 回だけ表示され、Cloud Manager ではどこにも保存されません。シークレットをコピーまたはダウンロードして安全に保管します。

5. [* 閉じる *] をクリックします。

サービスアカウントを削除する

不要になったサービスアカウントを削除します。

手順

1. [メンバー] タブで、サービスアカウントに対応する行のアクションメニューをクリックします。



2. [削除（Delete）] をクリックします。
3. 再度 * Delete * をクリックして確定します。

ワークスペースの管理

ワークスペースの作成、名前の変更、および削除により、ワークスペースを管理します。ワークスペースにリソースが含まれている場合、ワークスペースは削除できません。空である必要があります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [* ワークスペース *] をクリックします。
3. 次のいずれかのオプションを選択します。
 - 新しいワークスペースを作成するには、* 新しいワークスペースを追加 * をクリックします。
 - * 名前変更 * をクリックして、ワークスペースの名前を変更します。
 - ワークスペースを削除するには、* 削除 * をクリックします。

コネクタのワークスペースを管理する

ワークスペース管理者が Cloud Manager からワークスペースにアクセスできるように、コネクタをワークスペースに関連付ける必要があります。

アカウント管理者のみがいる場合は、コネクタをワークスペースに関連付ける必要はありません。アカウント管理者は、デフォルトで Cloud Manager のすべてのワークスペースにアクセスできます。

["ユーザー、ワークスペース、コネクタの詳細をご覧ください"](#)。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. コネクタ（* Connector）をクリックします。
3. 関連付けるコネクタの * ワークスペースの管理 * をクリックします。
4. コネクタに関連付けるワークスペースを選択し、* 適用 * をクリックします。

サブスクリプションの管理

クラウドプロバイダのマーケットプレイスからサブスクライブすると、各サブスクリプションはアカウント設定ウィジェットから利用できます。サブスクリプションの名前を変更したり、1つまたは複数のアカウントからサブスクリプションの関連付けを解除したりすることができます。

たとえば、2つのアカウントがあり、それぞれが別々のサブスクリプションで課金されるとします。いずれかのアカウントとサブスクリプションの関連付けを解除することで、Cloud Volume ONTAP 作業環境の作成時にそのアカウントのユーザが誤って誤ったサブスクリプションを選択しないようにすることができます。

"サブスクリプションの詳細については、こちらをご覧ください"。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [サブスクリプション] をクリックします。

現在表示しているアカウントに関連付けられている月額プランのみが表示されます。

3. 管理するサブスクリプションに対応する行のアクションメニューをクリックします。



Name	Service	Cloud Provider	Status
QA Subscription	test-service	aws	Unsubscribed
metering service subscription QA !!!!	cloud-volumes-ontap	aws	Subscribed

4. サブスクリプションの名前を変更するか、サブスクリプションに関連付けられているアカウントを管理するかを選択します。

アカウント名を変更する

アカウント名はいつでも変更して、わかりやすい名前に変更してください。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. 「* 概要 *」タブで、アカウント名の横にある編集アイコンをクリックします。
3. 新しいアカウント名を入力し、* 保存 * をクリックします。

プライベートプレビューを許可します

アカウントでプライベートプレビューを有効にすると、Cloud Manager でプレビュー版として提供される新しい NetApp クラウドサービスにアクセスできるようになります。

プライベートプレビューのサービスは、期待どおりに動作することが保証されておらず、サービスが停止したり、機能しなくなったりする可能性があります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [* 概要 *] タブで、[* プライベートプレビューを許可する *] 設定を有効にします。

サードパーティサービスを許可しています

アカウント内のサードパーティサービスが、Cloud Manager で使用可能なサードパーティサービスにアクセスできるようにします。サードパーティのサービスはクラウドサービスとネットアップが提供するサービスに似ていますが、サードパーティが管理とサポートを行っています。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [* 概要 *] タブで、[* サードパーティサービスを許可する *] 設定を有効にします。

SaaS プラットフォームを無効にする

会社のセキュリティポリシーに準拠するために必要な場合を除き、SaaS プラットフォームを無効にすることはお勧めしません。SaaS プラットフォームを無効にすると、ネットアップの統合クラウドサービスを使用できなくなります。

SaaS プラットフォームを無効にすると、Cloud Manager から次のサービスを使用できなくなります。

- クラウドデータの意味
- Kubernetes
- クラウド階層化
- グローバルファイルキャッシュ

SaaS プラットフォームを無効にする場合は、からすべてのタスクを実行する必要があります ["コネクタで利用可能なローカルユーザーインターフェイス"](#)。



これは元に戻すことができない操作であり、Cloud Manager SaaS プラットフォームを使用できなくなります。ローカルコネクタからアクションを実行する必要があります。ネットアップの統合クラウドサービスの多くを利用することはできません。また、SaaS プラットフォームを再度有効にするには、ネットアップのサポートが必要になります。

手順

1. Cloud Manager の上部で、* Account * ドロップダウンをクリックし、* Manage Account * をクリックします。
2. [概要] タブで、SaaS プラットフォームの使用を無効にするオプションを切り替えます。

アカウントでの操作の監視

Cloud Manager で実行されている処理のステータスを監視して、対処が必要な問題がないかどうかを確認できます。ステータスは、通知センターまたはタイムラインで表示できます。

次の表は、通知センターとタイムラインの比較を示しています。これにより、それぞれの機能を理解することができます。


通知センター	タイムライン
イベントとアクションのステータスの概要が表示されます	各イベントまたはアクションの詳細を表示し、詳細な調査を行います
現在のログインセッションのステータスを表示します。ログオフすると、通知センターに情報が表示されなくなります	過去 1 カ月までステータスを保持します
ユーザインターフェイスで開始されたアクションのみを表示します	UI または API からのすべての操作が表示されます
ユーザが開始した操作を表示します	ユーザが開始したアクションとシステムが開始したアクションの両方が表示されます
結果を重要度でフィルタリングします	サービス、アクション、ユーザー、ステータスなどでフィルタリングします

通知センターを使用した動作ステータスの監視

通知は、Cloud Manager で開始した処理の進捗状況を追跡するイベントのようなもので、処理が成功したかどうか、失敗したかどうかを確認できます。現在のログインセッションで開始した Cloud Manager の処理（および今後のクラウドサービス処理）のステータスを表示できます。

現時点では、次の Cloud Volumes ONTAP オブジェクトの作成および削除に関する通知のみがサポートされています。

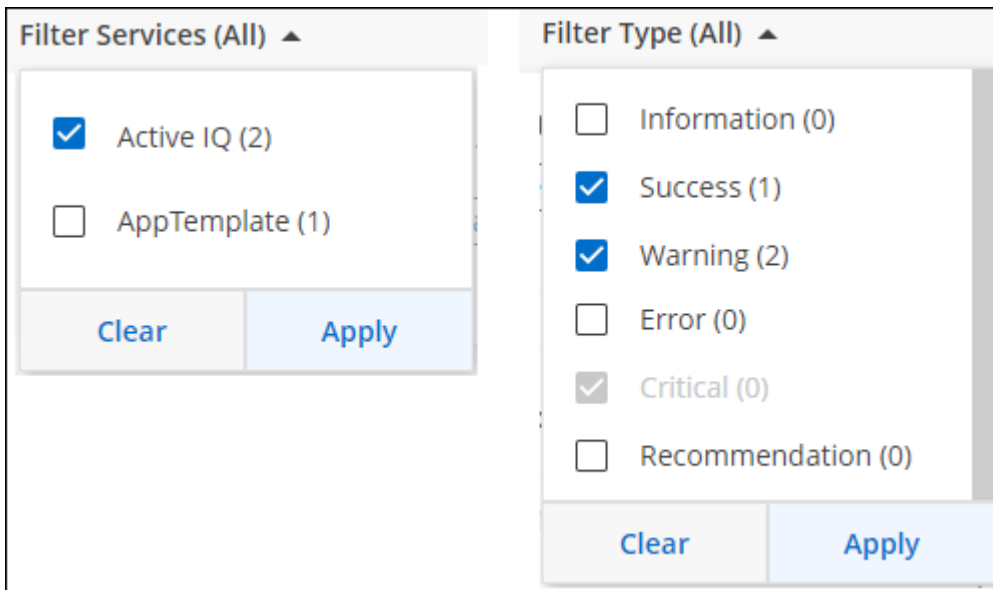
- 作業環境
- アグリゲート
- 個のボリューム

通知を表示するには、通知ベル () をクリックします。ベルの小さなバブルの色は、アクティブな最上位レベルの重大度通知を示します。赤いバブルが表示されている場合は、重要な通知があることを意味します。



通知のフィルタリング

デフォルトでは、すべての通知が表示されます。通知センターに表示される通知をフィルタリングして、重要な通知のみを表示できます。Cloud Manager の「サービス」および通知の「タイプ」でフィルタできます。

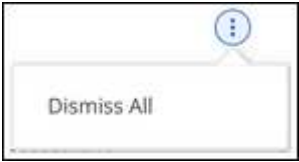


たとえば、Cloud Manager の処理に対する「エラー」通知と「警告」通知のみを表示する場合は、それらのエントリを選択します。表示される通知のタイプはでのみです。

通知が欠落します

通知が不要になった場合は、ページから削除できます。すべての通知を一度に却下することも、個々の通知を却下することもできます。

すべての通知を却下するには、通知センターでをクリックします。をクリックして、[すべてを却下]を選択



します。

個々の通知を却下するには、通知の上にカーソルを置き、* Dismiss * をクリックしま



す。

アカウント内のユーザアクティビティを監査する

Cloud Manager のタイムラインには、アカウントの管理用にユーザが完了した操作が表示されます。これには、ユーザの関連付け、ワークスペースの作成、コネクタの作成などの管理操作が含まれます。

タイムラインのチェックは、特定のアクションを実行したユーザーを特定する必要がある場合や、アクションのステータスを特定する必要がある場合に役立ちます。

手順

1. [* すべてのサービス > タイムライン *] をクリックします。
2. [フィルタ] で、[サービス *]、[テナント *] の順にクリックし、[適用 *] をクリックします。

タイムラインが更新され、アカウント管理アクションが表示されます。

ロール

アカウント管理者、ワークスペース管理者、コンプライアンスビューア、および SnapCenter 管理者の各ロールは、ユーザーに特定の権限を提供します。

Compliance Viewer ロールは、読み取り専用の Cloud Data Sense アクセス用です。

タスク	アカウント管理者	ワークスペース管理者	Compliance Viewer (コンプライアンスビューア)	SnapCenter 管理者
作業環境の管理	はい。	はい。	いいえ	いいえ
作業環境でサービスを有効にします	はい。	はい。	いいえ	いいえ

タスク	アカウント管理者	ワークスペース管理者	Compliance Viewer (コンプライアンスビューア)	SnapCenter 管理者
データ複製ステータスを表示します	はい。	はい。	いいえ	いいえ
タイムラインを表示します	はい。	はい。	いいえ	いいえ
ワークスペースを切り替えます	はい。	はい。	はい。	いいえ
データセンススキャンの結果を表示します	はい。	はい。	はい。	いいえ
作業環境を削除します	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
Kubernetes クラスタを作業環境に接続	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
Cloud Volumes ONTAP レポートを受信します	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
コネクタを作成します	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
ネットアップアカウントを管理	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
クレデンシャルを管理する	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
Cloud Manager の設定を変更	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
サポートダッシュボードを表示および管理します	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
Cloud Manager から作業環境を削除します	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
HTTPS 証明書をインストールします	はい。	いいえ	いいえ	いいえ
SnapCenter サービスを使用します	はい。	はい。	いいえ	はい。

関連リンク

- ["ネットアップアカウントでワークスペースとユーザをセットアップ"](#)
- ["ネットアップアカウントでのワークスペースとユーザの管理"](#)

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。